

(報道発表資料)

2021年4月21日

宮崎県森林組合連合会  
諸 塚 村  
西日本電信電話株式会社宮崎支店

### 「諸塚村森林・林業DX推進協議会」の設立について

宮崎県森林組合連合会（代表理事会長：長友 幹雄）、諸塚村（村長：西川 健）と西日本電信電話株式会社宮崎支店（支店長：栞畑 秀哉、以下 NTT 西日本）は、耳川広域森林組合、宮崎県木材協同組合連合会、国立大学法人宮崎大学の参画のもと、山村を豊かにする森林・林業 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進を目的とした産官学・地域連携による協議会を設立し、諸塚村における実証事業に取り組みます。

#### 1. 協定締結に至った背景

日本の林業は様々な課題を抱えており、森林の所有者においては世代交代の進展に伴い自身の持つ山の資産価値がわからず森林経営の継続に向けては詳細な森林情報の入手が必要な状況であり、また、林業従事者においては高齢化や後継者不足により適正な森林の維持に向けては新たな技術革新により生産性向上が必要な状況となりつつあります。更には、近年気候変動などの影響により土砂災害等も頻発し、森林の公益的な機能が益々重要となっており、森林の持続的かつ適正で効果的な管理・経営が求められています。

杉の生産量が29年連続日本一の林業大県である宮崎県においてもこの課題は顕在化しており、その解決手段の1つとして、ICT やデジタルデータの利活用による森林・林業 DX を通じて森林・林業活性化への期待が高まっております。

宮崎県森林組合連合会は、8つの森林組合から構成される連合組織です。森林組合とともに木を育て、使い、また育てるというサイクルを通じて森林・林業・山村の持続的発展に貢献するため、森林・林業 DX の推進に取り組んでいます。

諸塚村では、林業立村を掲げ、農林複合経営、集団間伐、林地村外流出防止、森林認証、産直住宅、二酸化炭素吸収クレジット化などに先駆的に取り組み、山村の持続的発展に挑戦し続けております。

NTT西日本は、社会を取り巻く環境変化がもたらすさまざまな課題に対し、先頭に立って ICT の力で解決をしていく「ソーシャル ICT パイオニア」として、これまで培ってきた経験や技術力を活かし、地域活性化の取り組みを推進しており、森林・林業 DX において

も先進的な ICT やデジタルデータの利活用による新たな価値の創造を進めてまいります。

このような背景のもと、諸塚村、宮崎県森林組合連合会と NTT 西日本は、森林・林業 DX の推進を目的に、耳川広域森林組合、宮崎県木材協同組合連合会、国立大学法人宮崎大学の参画のもと、協議会を設立することとなりました。

## 2. 協議会設立日

2021 年 4 月 21 日（水）

## 3. 協議会設立の目的と実証事項

本協議会は、諸塚村において山村の持続的発展に資する森林・林業 DX の推進を目的とし、以下の実証事項について連携協力し実施します。

### (1) 森林情報のデジタル化

人工衛星とドローンを組み合わせた独自の方法による森林情報のデジタル化を実証します。これによって森林調査・計測作業を大幅に効率化します。

### (2) 森林デジタル情報の「見える」化

取得した森林デジタル情報を森林施業や資産評価に役立つ情報として「見える」化し、森林所有者や木材生産業者、市町村林政担当者などにわかりやすく提示します。これにより、森林管理・林業経営における迅速な情勢判断と意思決定を支援します。

### (3) 森林クラウドサービス環境の構築とビジネス利用

さまざまな森林デジタル情報を統合・共有するクラウドサービス環境を構築し、クラウド取引を行います。これにより森林所有者や森林組合、木材生産・加工業者などの相互コミュニケーションを活性化させ、需給マッチング等の森林ビジネスの新地平を開拓します。

## 4. 役割分担

- ・宮崎県森林組合連合会：先進的な ICT 等活用事例の創出検討、実証における施業プランニング・取引業務及び森林施業（耳川広域森林組合と連携）の運営
- ・諸塚村：実証フィールドの提供、先進的な ICT 等活用事例の創出支援、宮崎県内自治体への取り組み成果の共有
- ・NTT 西日本：先進的な ICT やデジタルデータの利活用による森林情報デジタル化支援、森林クラウド（試用版）の構築、クラウド取引機能の実現

## 5. 今後の展開について

今回の協議会設立を契機とし、先進的な ICT やデータ利活用により、真に山村および林業の持続的発展に資する森林・林業 DX を地域と一体となって推進し、全国に向けて発信していきます。

\* ニュースリリースに記載されている情報は、発表時点のものです。現時点では、発表日時点での情報と異なる場合がありますので、あらかじめご了承くださいとともに、ご注意をお願いいたします。